



令和3年7月発行

ポレポレ Pole Pole

No.42

令和3年ポレポレ総会開催

ページ紹介

ポレポレ総会	1ページ
Hello!!異文化	2ページ
活動レポート	3ページ
イベント案内	4ページ



4月25日(日)10時より、雁宿ホール2階の第3会議室で、ポレポレの総会が開催されました。出席者は23名。はじめに百合草会長からの挨拶があり、来賓の半田市企画部長山田様、半田社会福祉協議会会長加藤様からの挨拶の後、事務局担当者から前年度の事業報告・収支決算報告、今年度の事業報告(案)・収支予算(案)の承認・役員紹介・グループ紹介などがあり、総会は滞りなく終了しました。

会長挨拶

昨年はコロナウイルスによる緊急事態宣言のため、総会を中止させて頂きました。今年度もまだコロナの影響下にありますが、本日は来賓の方々、ボランティアの皆さんにお越しいただき、国際ボランティアポレポレの総会が開催されますことを、大変うれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ渦で、私は最近テレビや新聞を見る事が多くなって、“Sustainable”(持続可能な、環境にやさしい)、“Diversity”(多様性)などの言葉が特になりにました。改めて振り返ってみると、この2つのことが私たちの活動のなかにも生きています。例えば、古着回収は市民の皆さんから提供頂いた衣類が、どこかの国で再利用されています。また日本語スクールは、生徒さんに日本語を教えることを通じ「多様性」の理解になっています。

他のグループ活動も含め、今までの受け継がれて来た活動の方向性は、間違っていないと思えました。そしてなにより、長く活動が続いていることが大切だと思えます。

現在4,000人を超える外国人が半田市に住んでいます。これからもボランティアの方々や半田市のご理解ご協力をいただきながら、多文化共生の住みやすい環境の手助けになればと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

百合草 宮子



国際ボランティア ポレポレ

事務局：〒475-0024

亀崎高根町 6-93-1

Tel：0569-29-3188

info@polepole-iv.net

“Hello!! 異文化”

昨年度からポレポレの新入会員になり、県内の大学に在学中の出口さんは、2019年9月から2020年6月までインドネシアの大学に留学していました。「国際開発の仕事に興味があり、現地の言語を学び、海外ボランティアと留学を同時に経験したかった。」ということです。インドネシアでの異文化体験を投稿していただきました。

“優しさに触れて” ～インドネシア共和国～

出口 彩夏

皆さんは「インドネシア」と聞いて何を思い浮かべますか？

バリ島の綺麗なビーチ、サンバルソースと一緒に楽しむ焼き鳥サテ、世界遺産のポロブドゥール寺院など、観光地として大変魅力的な印象を持たれている方が多いと思います。しかし、今回私がお話しさせて頂きたいことはインドネシアで訪れた場所の美しさや、ご飯の美味しさではなく、「人の優しさ」についてです。

私が留学していた場所はジャワ島中央部に位置するジョグジャカルタ特別州。地元の人からも人気の高いマリオボロ通りという繁華街には何百万着ものバティック(インドネシアの伝統衣装)が売られており、私もワクワクしながら現地に着いてすぐに何着か購入しました。

時は少し経ち、留学開始から2か月目、大学で大きな講演会があるということで早速バティックを着て出席しようと思いました。しかしタイミングの悪いことにポタンが2つ外れているではありませんか。もちろん裁縫道具を留学先に持って行くほど用意周到ではない私は、針と糸を求め、バティックを片手に急いで外に。近くにあった携帯ショップの強面のお兄さんに「この辺に裁縫道具が売っている場所ありますか？」とダメもとで尋ねてみました。するとお兄さんは私のバティックを手に取り、少し観察した後「少し待っていて！」と言いバイクでどこかに行ってしまうました。

10分後に戻ってきたお兄さんの手には裁縫道具が。なんとお兄さんは裁縫道具を取って来てくれたのです。それだけではなく、お兄さんはその場でポタンを直してくれました。しかも外れていたポタンだけではなく、全てのポタンをつけ直してくれたのです。せめて裁縫道具代は払おうと思ったら「もう友達だからお金なんて要らないよ」と笑顔で言うお兄さん。しかし、私はさほど驚きませんでした。なぜなら住み始めてから出会った人は全員このお兄さんの様に優しくかったです。インドネシアの魅力は場所でも、食事でもありません。困っている人を躊躇なく助ける優しい国民性だと思います。

留学中に会った方々に親切にいただいたことがポレポレの参加に繋がりました。今度は私がこの地域に住む外国の方の生活が少しでも良いものになるようにお手伝いしたいと思います。

インドネシア共和国

赤道を中心とした東西約5,000kmのエリアに、14,000以上の島々が点在するインドネシアは、面積191万6,862km²(日本の約5倍)、人口約2億6,532万人(2018年推定値)共に東南アジアにおいて最大規模を誇る国です。ジャワ人45%、スンダ人14%などが中心ですが、350あまりの民族で構成されています。首都はジャワ島、ジャカルタ首都特別州、公用語はインドネシア語。宗教はイスラム教徒が90%近くを占めている世界最大のイスラム教国で、他にキリスト教、ヒンドゥー教、仏教などです。

首都ジャカルタがあるジャワ島は、19世紀にジャワ原人(ホモ・エレクトス・エレクトス)の化石が発見されたことも知られています。この地では、80万～100万年前には人類の祖先が暮らしていたと考えられています。

観光で有名なバリ島は、ビーチリゾート、独自に発展した文化、豊かな自然、芸術など様々な楽しみが詰まった東南アジア屈指のリゾートアイランドです。



世界遺産 プランバナン



通学していた大学のキャンパス



インドネシアの国旗



インドネシアの地図

“古着回収 中止でした”

「えっ、中止ですか。」「すみません。緊急事態宣言が解除にならなくて、残念ながら中止になってしまいました。せっかく持って来ていただいたのに、本当に申し訳ありません。」

そんなやり取りが、6月20日の古着回収の会場となっていた駐車場で繰り返されていました。昨年できなかったため、今年こそはと、広報活動や準備をしてきたのですが、まだ緊急事態宣言中だからという事で、今年も結局古着回収ができませんでした。

中止のお知らせを半田市やボレボレのホームページと新聞の知多版などで流しましたが、連絡が行き届かず、約150名の方々が、会場に古着を持って来てくださいました。来て下さった方々には、会員と市の職員とで古着回収中止の説明を「日本救済衣料センターだより」を配らせていただきました。

ご家庭で古着の準備をして下さった多くの皆様、会場に来て下さった皆様、本当に申し訳ありませんでした。ありがとうございました。来年はきっとできると信じています。どうぞこれに懲りず、来年もご協力お願い致します。

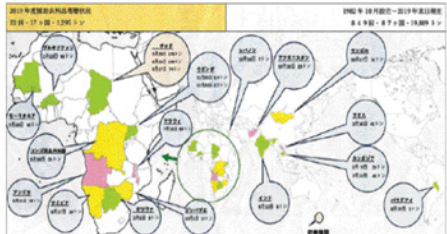
“NPO法人日本救済衣料センターの活動”

昨年度、今年と残念ながら私たちは参加できませんでしたが、古着を送っている団体のNPO法人日本救済衣料センターの活動について、頂いた資料の中から、改めて抜粋して紹介します。

1982年10月に設立されたNPO法人日本救済衣料センター（JRCC）は、1983年度4ヶ国18トンから救済を始めました。世界的な気候の変化に加え、コロナ禍のため、昨年度は輸送手段の確保、海上運賃の値上げなど、より一層難しい年ではありましたが、14ヶ国1,386トンの寄贈ができました。初年度から計算すると、総合計90ヶ国、総量21,275トンとなりました。

世界銀行は、紛争や気候変動の影響に加え、コロナ禍で2020年には世界の極度の貧困層が過去20年以上の間でさらに増加するとの見通しを発表しました。このような情勢変化により最も深刻なダメージを受けるのが少数民族、難民・国内避難民、女性、障害者などの社会的弱者であり、JRCCは貧困者とともに、これらの人たちを継続的に支援しています。

コロナは依然として罹患する不安があり、それによる状況変化への対応に戸惑いながら暮らしている状態ではあります。昨今マスコミ等でも取り上げられることが多くなってきているSDGs（持続可能な開発目標）との連帯として、JRCCの活動に関心を寄せられていることもあり、状況が収まり次第、一昨年レベルの状態に戻ることを期待しています。今後ともこの活動を継続して行きたいと思えます。



“第31回 古着回収のポスター”



主催：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

協賛：半田市環境課（2020年6月）

日本救済衣料センター 2020年度寄贈実績 (参考資料)

国名	数量	重量	備考
1. 中国	1,000	100.00	
2. 韓国	500	50.00	
3. 台湾	300	30.00	
4. 香港	200	20.00	
5. 日本	100	10.00	
6. 米国	80	8.00	
7. 英国	60	6.00	
8. ドイツ	40	4.00	
9. フランス	30	3.00	
10. イタリア	20	2.00	
11. スペイン	15	1.50	
12. 米国	10	1.00	
13. 英国	8	0.80	
14. ドイツ	6	0.60	
15. フランス	4	0.40	
16. イタリア	3	0.30	
17. スペイン	2	0.20	
18. 米国	1	0.10	
19. 英国	1	0.10	
20. ドイツ	1	0.10	
21. フランス	1	0.10	
22. イタリア	1	0.10	
23. スペイン	1	0.10	
24. 米国	1	0.10	
25. 英国	1	0.10	
26. ドイツ	1	0.10	
27. フランス	1	0.10	
28. イタリア	1	0.10	
29. スペイン	1	0.10	
30. 米国	1	0.10	
31. 英国	1	0.10	
32. ドイツ	1	0.10	
33. フランス	1	0.10	
34. イタリア	1	0.10	
35. スペイン	1	0.10	
36. 米国	1	0.10	
37. 英国	1	0.10	
38. ドイツ	1	0.10	
39. フランス	1	0.10	
40. イタリア	1	0.10	
41. スペイン	1	0.10	
42. 米国	1	0.10	
43. 英国	1	0.10	
44. ドイツ	1	0.10	
45. フランス	1	0.10	
46. イタリア	1	0.10	
47. スペイン	1	0.10	
48. 米国	1	0.10	
49. 英国	1	0.10	
50. ドイツ	1	0.10	
51. フランス	1	0.10	
52. イタリア	1	0.10	
53. スペイン	1	0.10	
54. 米国	1	0.10	
55. 英国	1	0.10	
56. ドイツ	1	0.10	
57. フランス	1	0.10	
58. イタリア	1	0.10	
59. スペイン	1	0.10	
60. 米国	1	0.10	
61. 英国	1	0.10	
62. ドイツ	1	0.10	
63. フランス	1	0.10	
64. イタリア	1	0.10	
65. スペイン	1	0.10	
66. 米国	1	0.10	
67. 英国	1	0.10	
68. ドイツ	1	0.10	
69. フランス	1	0.10	
70. イタリア	1	0.10	
71. スペイン	1	0.10	
72. 米国	1	0.10	
73. 英国	1	0.10	
74. ドイツ	1	0.10	
75. フランス	1	0.10	
76. イタリア	1	0.10	
77. スペイン	1	0.10	
78. 米国	1	0.10	
79. 英国	1	0.10	
80. ドイツ	1	0.10	
81. フランス	1	0.10	
82. イタリア	1	0.10	
83. スペイン	1	0.10	
84. 米国	1	0.10	
85. 英国	1	0.10	
86. ドイツ	1	0.10	
87. フランス	1	0.10	
88. イタリア	1	0.10	
89. スペイン	1	0.10	
90. 米国	1	0.10	
91. 英国	1	0.10	
92. ドイツ	1	0.10	
93. フランス	1	0.10	
94. イタリア	1	0.10	
95. スペイン	1	0.10	
96. 米国	1	0.10	
97. 英国	1	0.10	
98. ドイツ	1	0.10	
99. フランス	1	0.10	
100. イタリア	1	0.10	
101. スペイン	1	0.10	
102. 米国	1	0.10	
103. 英国	1	0.10	
104. ドイツ	1	0.10	
105. フランス	1	0.10	
106. イタリア	1	0.10	
107. スペイン	1	0.10	
108. 米国	1	0.10	
109. 英国	1	0.10	
110. ドイツ	1	0.10	
111. フランス	1	0.10	
112. イタリア	1	0.10	
113. スペイン	1	0.10	
114. 米国	1	0.10	
115. 英国	1	0.10	
116. ドイツ	1	0.10	
117. フランス	1	0.10	
118. イタリア	1	0.10	
119. スペイン	1	0.10	
120. 米国	1	0.10	
121. 英国	1	0.10	
122. ドイツ	1	0.10	
123. フランス	1	0.10	
124. イタリア	1	0.10	
125. スペイン	1	0.10	
126. 米国	1	0.10	
127. 英国	1	0.10	
128. ドイツ	1	0.10	
129. フランス	1	0.10	
130. イタリア	1	0.10	
131. スペイン	1	0.10	
132. 米国	1	0.10	
133. 英国	1	0.10	
134. ドイツ	1	0.10	
135. フランス	1	0.10	
136. イタリア	1	0.10	
137. スペイン	1	0.10	
138. 米国	1	0.10	
139. 英国	1	0.10	
140. ドイツ	1	0.10	
141. フランス	1	0.10	
142. イタリア	1	0.10	
143. スペイン	1	0.10	
144. 米国	1	0.10	
145. 英国	1	0.10	
146. ドイツ	1	0.10	
147. フランス	1	0.10	
148. イタリア	1	0.10	
149. スペイン	1	0.10	
150. 米国	1	0.10	



お知らせ & イベント案内

“日本語教室”

日本語教室は、新型コロナウイルス感染厳重警戒宣言により羅宿ホールが夜8時までのため、7月11日までお休みし、17日の土曜日から開講、夜9時で終了しました。

会場の予約状況などの理由で、7月31日の土曜日から8月21日までの4回お休みし、9月から通常(19:30~21:30)に戻る予定です。

尚、コロナの収束状況により変更となる場合があります。

ポルトガル語(金)・スペイン語(木)

(19:00~20:00 羅宿ホール)

英語学習会(月1回土曜日)リモート形式

(18:00~19:00)

など、状況に応じて順次活動開催予定です。

今後の活動予定

JFEスティーレ
はんだ産業まつり 11月
今年は開催されないため
フリマは不参加となります

ポレポレ主催
クリスマスパーティ
12月
開催は未定です



“ホームステイ・ビジット活動の現状”

昨年から、コロナ感染防止のため、ホームステイ・ビジット交流はずっと行うことができていません。そんな中で、ポレポレも参加している名大「地球家族プログラム」では、昨年の秋学期から今年の春学期にかけて「文通交流プログラム」が行われています。ポレポレの会員には、この活動に参加しているメンバーはいませんが、留学生との交流活動を絶やさないように工夫しているようです。

ワクチンが行き渡りコロナ感染が収束するまでは、なかなか以前のような交流活動は難しいようですが、また再開されましたら、ご協力よろしくお願いします。なお、ホームステイ・ビジット交流活動の担当者ですが、長い間この活動に力を尽くしてきた榎原紀子さんから、松井和子に変わりましたので、合わせてお知らせ致します。よろしくをお願いします。

国際ボランティア ポレポレ ホームページ

<http://www.polepole-iv.net> mail: info@polepole-iv.net

“Something Great”



すき間時間にスマホを見ることがある。ある日、「日本は宝石だ」というフレーズが目にとまった。さらに見ると宇宙衛星から見た地球上の国々が映っていた。日本はたぶん夕方の映像だろう、日本列島を縦断して深々とした緑におおわれ、沿岸の都市部が銀河のように輝いていた。外国からのツイートも「なんて美しい!」「日本は特別だ」などあった。

この状況のせいか、テレビも取材に行ける機会が減ったせいだろうか、日本はもとより全世界の観光地や美術館など、美しいもの、自然の風景などを見る機会が多くなった。果てしなく澄んだ海の色。色とりどりの花々が群生する山の斜面。人里離れた山間をながれる小川のせせらぎ。人の力では造れそうもない自然の景観。今まで面としてみていた景色も、最近はドローンの発達によりいろんなものを俯瞰して見る機会も増えた。時には地球の丸みを感じる映像もある。

分子生物学者の村上和雄さんは、さまざまな化学実験をなんども繰り返すなかで、自然界には「何か人智を超えたものが存在するのではないか」と思うに至り、それを「Something Great サムシンググレイト」と名付けた。私自身もテレビを通して空から地球を見ているような気分になると「私たちはこんなに美しい地球を与えられている」と「何かの存在」を思うことがある。

日本や世界の素晴らしい自然を様々な角度から見せてもらうにつれ、私たちはいつまでこの状態を維持できるのだろうかと思う。

(Y.T)